

わがまち しゅぜんじ



伊豆市社会福祉大会 盛大に開催される



去る十月二十九日、いきいきプラザにて開催されました。土曜日という事で本業に忙しい筆者は、ほんのちょっとのぞいてみたに過ぎませんが、かくも多くの人たちがかわっていることに認識を新たにしました。自分の無知かはずかしくなりました。アイバンク、臓器提供、保護司、行政相談員、赤十字活動、そして民生委員、その他なんともやさしい人たちよ。この人たちのおかげで私たちは安心して暮らしていける。里親として子どもをうけいれている人の話をきいた。なんと私は小さいことか、と思いついたひとときでした。

(政治に口を出すつもりはありません)

S・MAP

(エスマップはしゅぜんじのしあわせを祈っております)

先日の市議会議員選では修善寺地区の候補者全員が見事当选し、まことに喜ばしい限りです。桂川上流から山口しげるさん、西島しんやさん、間野みどりさんの三人です。みなさん体格に恵まれ合計体重は二百三十キロ超えと推定されます。いよ、西郷どん、そんな感じ。新議員に抱負を語っていただきたいのですか、忙しそうなので選挙用リーフレットの中から福祉に関係する部分抜き出してみました。あしからず、期待して



山口 しげるさん

安心して子供を産み育てられる環境、高齢者が住み慣れたところで過ごすことができるまちづくり、住みたいまち、住んでよかつた実感できるまちづくりに取り組みます

中学生まで通院入院は無料に。
高齢者には市営温泉を無料に。
ゴミ袋を値下げし、教育、福祉、医療、介護等、市民サービスを充実させます



西島 しんやさん



間野 みどりさん

産んでよし、育ててよし、学んでよしのまちづくり。得意分野をいかして健康づくり、文化活動、コミュニティ活動に全力でとりくみます

※毎度のことながら絵に對する苦情のたぐいは断固として受け付けません

忘れられない。

伝えておきたい。



今回は中里の鈴木よしえさんからのおたよりをもとにまとめました。私は目を閉じるとは、きりその場面を思い出すことができず。昭和十九年、修小の校庭には全児童が集まり空を見上げていました。湯舟出身の植田正治さん、ハンサムでカッコ良くて頭が良くて字も抜群にうまい、みんなの憧れのお兄さんが最初の特攻隊として出撃する前、お別れの挨拶に飛んできたのです。超低空飛行で三回、旋回し操縦席から敬礼をしました。表情もは、きり見えませんでした。ご両親や親せき、なつかしい友、母校にむけた敬礼でした。涙があふれてきました。燃料にまだ余裕があった頃の話です。おたより

葛集

修善寺温泉生活環境保全林の整備事業が完了しました。

要は修禅寺の裏山の治山工事です。八ヶ所巡拜の初日にテーパーカット開山し、なるほど良くなったと実感された方も多いと思います。県の事業として莫大なお金をかけてくれました。このゆたかな森を守っていくのは私たちの責務となります。

交番より



どうも

修善寺

はあまりに長い。愛称をつけましょう。



柏久保で被害あり

10月13日、150万円とだましとられる事件発生！「会社の小切手を落してはた金が必要だ、部下に渡し」

部下を名取る男が来て、用意した現金を渡してはた

だまされないぞ

何度も言うようだけれど、あやしいと少しでも思ったら、冷静におちついてと声に出してみよう。大事なお金

ありがとうばなし

県道の下神戸周辺、側溝への排水口が土と草で詰まっていた。台風シーズンを前に何とかしようとは思っていた。ある日それかすかりキレイになっていた。土砂も取り除かれ雨水はスイスイ吸い込まれていく。誰かやってくれたのか。オレはやってない。県か市の職員がやってくれたのか。数日して道路端ではいづくばその作業をしている姿に出逢った。下神戸の池田忠夫さん。いやあそこも池田さんが掃除してくれただすかと尋ねると照れながらうなづいた。本当のカッコ良さにス々に出逢った。ありがとう池田さん。安心してねられます。